

西光寺だより

第五十二号 平成二六年十二月一日発行

木枯らしが吹きすさぶころとなり、今年も早や終りを迎えようとしています。華やかなイルミネーションが街を彩り、気ぜわしい時期でもあります。

昨年より西光寺近くの河原では、河川敷に数千本の竹灯籠を配した「和のイルミネーション」を見ることが出来ます（主催・いばらき竹灯籠実行委員会）。一夜限りの開催ではありますが、風に揺らめく蠟燭の火は、照明がつくる景色とは異なる日本の冬を演出してくれます。

その風景は、街のイルミネーションの派手さこそありませんが、静かな冬の佇まいを感じさせてくれます。

一本一本の手によって灯されていく蠟燭の火は、ひとつ灯していく毎にこの一年をゆつくりと振り返られそうです。今年は皆様にとつてどんな年だったでしょうか。

一年を振り返ることは、その年を良い悪いと判断することではなく、この一年を過ごしてきた今の自分と向き合うことなのではないかとも思います。どんなことがあったとしても、今ここにいることの出来る自分に「おつかれさま」と伝えてあげたいですね。そして、支えてくれた方々に「ありがとう」と伝えることが出来れば良いですね。

師走と呼ばれる慌ただしい月ではありますが、静かに一年を振り返る時間を持ちたいと思います。

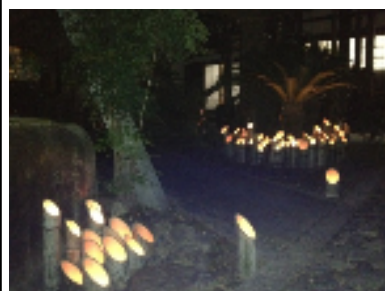
西光寺においても、昨年この竹を再利用させていただき除夜の鐘の際、境内に竹灯籠を灯しました。仄かな蠟燭の灯りは、鐘の音の響きと共に煩惱だらけの私たちの心に、それでも寄り添ってくれているように感じました。どなた様もぜひ一度訪れてみてください。静かな灯りの中でそれぞれの一年に感謝いたしましょう。

本年もありがとうございます。

合掌



西光寺境内
除夜の鐘にて



◆十二月・一月の行事◆

・十二月 八日(月)～九日(火)

茨木東組念仏奉仕団

京都 西本願寺

・十二月 三十一日(水)

除夜の鐘

西光寺

・一月 一日(木)

元日会法要

午前十時 西光寺

*一月のお逮夜参りは四日(日)からです。

日の変更は西光寺までよろしくお願い致します。

◆先月の報告◆

① 十一月二十二日(日・祝)西光寺にて報恩講法要を厳修致しました。多くのご門徒の方々と共に奉讃大師作法・正信偈のお勤めをさせていただきました。浄土真宗におきまして一年の中で最も大きな法要を、皆様とともにお勤めさせて頂いた事、感謝の念に堪えません。

この度は前にもご縁を頂いた、本願寺派布教使 和気秀剛師に来て頂き、今までにないスライドを使つての御絵伝(親鸞聖人のご生涯)の説明をしていただきました。今回は親鸞聖人御得度の様子を解り易く解説頂き、大変良かったと好評でございました。ありがとうございました。もうすでに来年の報恩講法要の予約もさせて頂いたので、また宜しくお願い致します。

総代様・役員様・仏教婦人会の皆様・年番の方々、法要のたびごとに、幕張やお茶出し、おせんごいの接待など、お力添えを頂きまして、本当にありがとうございました。そしてご参詣の皆様、本当にありがとうございました。これからも精進させて頂きますので、どうぞよろしくお願い致します。



② 十一月二十四日(月・祝)西光寺本堂にて初参式を執り行いました。三奉請・表白・十二礼のお勤めをさせて頂き、皆様でお焼香を致しました。尊いご縁によって恵まれた新しいのちを阿弥陀如来さまの御前にて、ご家族、また縁ある方々と共にお祝いし、感謝のご報告をさせて頂きました。お子さんにとってははじめての仏縁ですが、同時に親にとっても、親として生きる出発点であり、お子さんによつていただいた尊い仏縁でもあります。

真希ちゃん、おめでとうございます。



浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一七七一

電話 〇七二一六二二一四七九四

FAX 〇七二一六二二一九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>